

慣用句の基本をマスター！
読み・書き・意味⑤

名前

26問

問題 一

(一) 次の慣用句の——部分の読みがなを()に
ひらがなで書きましょう。

- ① 虻蜂取らず ()
- ② 快刀乱麻を断つ ()
- ③ 亀の甲より年の功 ()
- ④ 癩の虫 ()
- ⑤ 匙を投げる ()
- ⑥ 爪の垢を煎じて飲む ()
- ⑦ 暖簾に腕押し ()
- ⑧ 下馬評が高い ()
- ⑨ 俎上に載せる ()
- ⑩ 獅子身中の虫 ()

(二) 次の慣用句のカタカナ部分を()に漢字で書きましょう。

- ① クギツケになる () 答え ()
 - ② ケツパンを押す () 答え ()
 - ③ サジヨウの楼閣 () 答え ()
 - ④ エビで鯛を釣る () 答え ()
 - ⑤ 風前のトモシビ () 答え ()
- 指を切って出した血で印を押すこと。固い誓いや約束のしるし。
- 見た目は立派だが基礎がもろくて長続きしないもののため。(故事的背景を持つ)
- わずかな元手や労力で大きな利益を得ることのため。(ことわざ的)
- 今にも消えそうで非常に危険な状態のため。

問題 三

次【一】の慣用句を使って、短い文を作りましょう。

【大風呂敷を広げる】

実現できそうもない大げさな計画や話をする
こと。ほらをふく。

問題 二

(一) 次の慣用句の意味として正しいものを、ア～ウから選び、○をつけましょう。

- ① 虎の尾を踏む
 - ア 虎使いが虎を操ること。
 - イ 非常に危険なことをするたとえ。
 - ウ 動物園で虎の足跡を見つけること。
- ② 元の鞘に収まる
 - ア 一度仲たがいった者同士が、再び元の関係に戻ることに刀を鞘にしまうこと。
 - イ 古いものを新しいものに取り替えること。

知らない言葉は調べてみよう！



③ 両刃の剣

ア二つの刃を持つ便利な剣のこと。
イ 剣術の達人が使う特別な剣のこと。
ウ 一方では役立つが、他方では害をもたらす危険もあるもの
たとえ。

④ 耳にたこができる

ア 何度も聞いて暗記すること。
イ 同じことを何度も聞かされて、うんざりすること。
ウ 耳せんをすること。

⑤ 水の泡となる

ア 水の中に泡がたたくさんでできること。
イ お風呂に入ってリラックスすること。
ウ それまでの努力や苦心が、すべて無駄になってしまうこと。

(二) 次の意味に合う慣用句を、ア～ウから選び、○をつけましょう。

- ① 一度悪事に手を出した以上は、最後まで徹底的に悪事を貫こうとすること。
 - ア 毒を食らわば皿まで イ 付け焼き刃 ウ 帳尻を合わせる
- ② 話や考えが漠然としていて、はっきりしない様子。
 - ア 梨のつぶて イ 二の舞を演じる ウ 雲をつかむよう
- ③ 多くのものの中のほんのわずかで、取るに足りないもの。
 - ア 九牛の一毛 イ 群を抜く ウ 吹けば飛ぶような
- ④ 見かけは立派だが、中身が伴わないこと。
 - ア 羊頭狗肉 イ 才色兼備 ウ 錦を飾る
- ⑤ お互いに心の底まで打ち明けて親しく付き合うこと。
 - ア 肝胆相照らす イ 水と油 ウ 腹を探る